

た ま し ょ う

こ  
玉小っ子

玉村小学校 学校だより  
平成29年度 第47号  
平成30年3月23日発行

## 卒業おめでとう 23日



★今日23日は、6年生にとって小学校生活最後の日とともに門出の瞬間でした。83名の玉小っ子が玉村小を巣立ちました。式の間は緊張していたと思いますが、壇上では、担任の関根先生、中野先生、黒岩先生の呼名に大きな声で返事をし、堂々と卒業証書をもらうことができました。そして、一人一人の思いや感謝の気持ちを表した言葉と呼び掛け、歌も素晴らしかったです。さすが玉村小の6年生。とても輝いていましたね。式に参列された保護者の皆様方もさぞかし我が子の晴れ姿に感動したことと思います。ご来賓の皆様も同様だったかと。6年生の保護者の皆様には、これまで、多くのところでご支援やご協力くださり大変ありがとうございました。子ども達の素晴らしい門出を祝福し、これからの中学校での活躍を祈っています。また、ご臨席の来賓の皆さん、地域の皆さん大変ありがとうございました。今後とも玉村小学校の卒業生を含め、子供達を優しく見守って下さるようお願い申し上げます。卒業記念品として制作されたタイル画は児童玄関に飾ります。卒業生の力作を見て下さいね。

\*\*\*\*\* 式辞の中で6年生に贈ったはなむけの部分を紹介します \*\*\*\*\*

まずは、私がいつも言っていたこと、「自分の腕を磨く」ことです。これから中学生になっても、自分の腕を磨き続けて行くことです。得意なこと、苦手なこと、新しいことなど。磨くものはたくさんあるはずですよ。

でも何もしなければ、何も輝きません。何事も目標に向かって真剣に努力すれば、必ず得るものはあります。中学へ入学するまでに、何を磨けばよいのかじっくりと考えて下さい。

さて、二月に平昌オリンピックが開催され、たくさんの日本人選手が活躍したことは覚えていますが、その中で、「葛西紀明」というジャンプの選手は、皆さんも知っていると思います。

葛西選手は、十六歳という若さで日本代表入りし、今回で8度目のオリンピック出場を叶えました。既に四十六歳です。まさにレジェンドです。これまでのオリンピックでは、銅メダル一つと銀メダル二つを取った大変実績ある選手です。なぜ、四十六歳となる今日まで、現役選手を続けてきたのでしょうか。

それは、金メダルを取ることへの強いこだわりを持ち続けたことです。そのために、オリンピック代表に選ばれようと、たくさんの人達に支えられながら、諦めずに、必死に練習に励むことができたからなのです。

しかし、平昌では、残念ながら念願の金メダルを取ることはできませんでした。でも、葛西選手の信念は変わりませんでした。まだまだ現役を続けるのだと…。

このように、誰一人とも成し遂げたことのない困難なことに挑戦する腕の磨き方もあります。

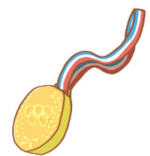
どんな方法であれ、自分自身を高めていくことはとても大事です。きっと皆さんにも挑戦できることがあると信じています。頑張っ

そして、もう一つは、感謝の気持ちを忘れないことです。

皆さんを今日まで大切に育てて下さった家族、温かく見守って下さった地域の方々、六年間色々なことを教えてくれた玉村小の先生。

もちろん、この先、長い人生の中で、皆さんを支えてくれるたくさんの人達にも。

これからも、感謝の気持ちを忘れず、大きく、高く、未来に向かって羽ばたいて行って欲しいです。



## ❖❖❖❖ お別れ式 1～3年生と6年生 23日朝 ❖❖❖❖

◆卒業式が始まる前に1～3年生と6年生とでお別れ式を行いました。低学年棟のプレイルームと通路に並んで行いました。まずは、1～3年生のこたばを伝えました。そして、6年生へ「君とぼくのラララ」の歌を贈りました。はきはきと元気に、そして心のこもった大きな声で感謝の気持ちやお別れの気持ちを伝えられました。贈った歌も素晴らしかったですね。6年生からは、お礼の言葉と「絆～キミとボクのたからもの～」を歌いました。卒業式に参加しない1～3年生と6年生との心温まるひととき、素晴らしいお別れ式となりました。



## ■ 最後のコマ 卒業式での6年生の様子です ■



## 卒業式全体練習、5年生による会場準備 22日



◆卒業式の前日の1・2校時に、卒業式の予行練習を行いました。本番と同じ流れで、卒業生入場から、全員の卒業証書授与、歌と言葉(呼びかけは最初だけ)、退場までを。緊張感の中、4年生から6年生までしっかりと取り組みました。3校時は6年生が最終確認を念入りしていました。

◆午後の卒業式の準備は、毎年5年生の役目。体育館の準備がメインですが、児童玄関や校舎内外の清掃や看板の飾り付けなども。みんなてきぱきと自分たちの

役割をこなし、立派な卒業式会場ができあがりしました。シートやパイプ椅子もきれいに雑巾掛けし、玄関や廊下、トイレも清掃しました。パンジーの花のプランターも並べ、今までの水やりで汚れたところもきれいにし、卒業生が通る花道も完成。次期玉村小学校のリーダーとして、しっかりと仕事をしてくれました。5年生の皆さんどうもありがとう。



### こうちょうのひとりごと

■卒業生の保護者の皆様、お子様の卒業、誠におめでとうございます。6年前、とても小さく幼なかった1年生が、こんなに立派に成長しました。この晴れ姿に、その思いもひとしおかと思えます。これも一重に、これまで手をかけてきた深い愛情の賜と思えます。心よりお慶び申し上げます。また、6年間という長い間、本校教育活動に、多大なるご支援、ご協力頂いたことにも、感謝申し上げます。誠にありがとうございます。私たち職員一同、卒業生達のこれからの活躍と成長を大いに期待し、誇りと自覚を持って、力強く生きていけるように、しっかりと応援していきたいと思えます。(式辞より抜粋)

■卒業生の皆さんはいよいよ中学生ですね。保護者の皆さんにとっても本人にとっても、4月からの生活の大きな変化に緊張と不安と期待が入り交じった気持ちになっているのかと思えます。あまり心配しすぎず、「大丈夫だあ～」と前向きでポジティブな気分で春休みを過ごしてくださいね。

☆卒業した6年生から嬉しい手作りの手提げ袋と感謝状をもらいました。どうもありがとう。そして、感謝状の文面には「校長のひとり言がおもしろかったです。」のコメントも。ちゃんと子供達もこのコーナーを読んでいるんだなと嬉しくなりました。来年度も続けなくてはいいいなあ～と実感できた優しい言葉でした…嬉!!

